

誌上行学講習会

高佐日焯上人

⑩ 仏陀界。これはこの世の生きた仏さま神さまのことであります。これも数はごく少ないのです。が立派に現存いたします。

おしゃかさま、キリスト、孔子、ソクラテス、を始めとして、ナイチンゲール、ガンジー、リンカーン等、日本では天皇陛下のような象徴人、これらは日本国民を代表する、いわゆる総和の人格としてのお立場でありますから、仏陀界の人であります。以上のように現実には十通りの社会があります。さて今の自分はどこに住んでおられるでしょうか。四悪の世界からは離れておりましようか。国民大衆か、富豪か、貴族か、学者知識人か、行道慈善人か、仏陀界か、いづれにしても必ずこのどこかに住して生きています。二、古い仏教の思想では、十界の社会観を神話的に六道四聖に分つては、之を現実に移して見ると、人間界と畜生界以外には存在して見えない。要するに人間の智能、思想、行動、境遇によるそれら十種の社会相の現われて来る原因は、人間の心理の中にその裏付となる可き思想があるからである。

昔は地獄というような別社会があると思つて、「地の下六百由旬に（大地獄あり）」などと本当に思われていた。

よくエン魔さまと言いますが、これも昔は人間が死ぬときにエン魔さまの使いが来て、「夢命がつきたから観念せい」と言われて連れ去られるのを死であると考え、恐ろしいとされていたのを死であるとして受けるが、でから法廷に引き出されて裁きを受けるが、エン魔さまの前でウソを言うとか地獄に落ちるといふことも信じられていたわけでありませう。今やとてもそんなことを信じなくなり、たが現実には自信によるつくり出される地獄だけを信ぜざるを得ないのであります。犯罪をおかせばその報は必ずあるからなす。現実には十界はあるからであります。要するところ人間の智能も（もの考え方）、思想、行動も（行ない）、それによつてつくられて来る境遇が十種の社会を形づくつてくる。の社会相の現われて来る原因は、人間の心理の中にその裏付となる思想があるからである。出入りなく行かないといふ正しき原因は心理の世界は出来なくなつてくるのであります。

次号に続く